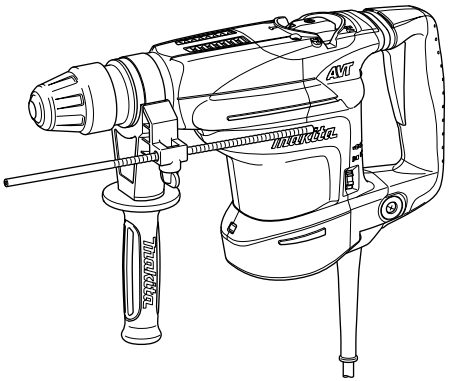
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

makita

取扱説明書

35mm
ハンマドリル
⧈ モデル HR3541FC

SDSマックス
シャンク



⧈
二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。
マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは**ハンマドリル**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

主要機能

主要機能＼モデル		HR3541FC
電動機		直巻整流子電動機
電圧		単相交流 100V
電流		9.4A
周波数		50-60Hz
消費電力		850W
最大穿孔能力		超硬ドリル 35mm コアビット 90mm
打撃回数		1,650 ～ 3,300min^{-1}(回 / 分)
回転数		315 ～ 630min^{-1}(回転 / 分)
本機寸法		長さ 439mm ×幅 114mm ×高さ 239mm
質量		5.2kg
振動 3 軸合成値	ハンマドリルモード	11.0m/s^2
	ハンマモード	9.0m/s^2
	ドリルモード	< 2.5m/s^2

- 振動 3 軸合成値は、EN60745-2-6 規格（ハンマドリル、ハンマモード）および EN60745-2-1 規格（ドリルモード）に基づき測定。
- 振動 3 軸合成値についての詳細は JEMA［(社) 日本電機工業会］ウェブサイト：(http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html) をご参照ください。
- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 ：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 ：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

電動工具共通の安全上のご注意

JPA001-20

⚠警告

・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
・「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

a) 作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
・ 注意が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
・ 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。

b) 電気に関する安全事項

1. 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグを改造したり、電源プラグをアダプタプラグなどで接続しないでください。
・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアースされているものに身体を接触させないようにしてください。
・ 感電する恐れがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
・ 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、絡まって感電する恐れがあります。
5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠警告

c) 作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、電動工具を使用しないでください。
- 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

2. 安全保護具を使用してください。
- 作業時は、常に保護めがねを使用してください。必要に応じて、防じんマスク、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓（イヤマフ）などを着用してください。

3. 不意な始動は避けてください。
- 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。

4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して傷害の恐れがあります。

5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

6. きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
- 屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
- 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

d) 電動工具の使用と手入れ

1. 無理して使用せず作業に合った電動工具を使用してください。
- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
- 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。

2. スイッチに異常がないか点検してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠警告

3. **電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。**
- 本機の調整
- 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
- 保管、または修理
- その他危険が予想される作業

4. **使用しない電動工具は、きちんと保管してください。**
- 子供の手の届かない安全な所、乾燥した場所で鍵のかかる所に保管してください。
- 電動工具とその操作に不慣れな方には電動工具を使用させないでください。不慣れな方のご使用は危険です。

5. **電動工具の保守点検をしてください。**
- 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

6. **先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。**
- 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。

7. **電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。**
- 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。

8. **極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。**

e) 整備

1. **電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。**
- 本体を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
- 本体が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
- 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

⚠警告

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。

・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に電動工具の修理を行ってください。

・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。

・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
＜異常・故障例＞
  ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
  ・ 電源コードに深いキズや変形がある。
  ・ コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
  ・ 焦げくさい臭いがする。・ビリビリと電気を感じる。
スイッチを入れても動かないなど、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店へ点検、修理をお申し付けください。

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。

・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。

4. ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

・ 感電の恐れがあります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
・ ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

ハンマドリル安全上のご注意

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、ハンマドリルとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

JPB010-13

⚠警告

1. 耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音用保護具を着用してください。
・ 騒音にさらされ難聴の原因になります。
2. 付属の補助ハンドルを使い、本機を両手でしっかり握ってください。
・ 振り回され、けがの原因になります。
3. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
4. 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。また、絶縁されたハンドルだけを握ってください。
・ 埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
5. 使用中は、ビットなどの工具類や回転部、切粉などの排出物に手や顔などを近付けないでください。
・ けがの原因になります。
6. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
7. 誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、ビットなどの工具類や本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
8. 石綿は人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、飛散防止対策をしてください。

⚠注意

1. 工具類（ビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
3. 作業中はヘルメット、安全靴を着用してください。
4. 作業直後の工具類や切クズは大変熱くなっていますので、触れないでください。
・ やけどの原因になります。
5. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
・ 材料や本機などを落としたときなど、事故の原因になります。
6. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
・ けがの原因になります。
7. 作業中にビットが食いついた場合、無理に本機を引き抜かないでください。
・ 体勢が不安定になり転倒など、けがの原因になります。
8. 作業時は、被削材を確実に固定してください。
・ 被削材が飛ぶなど、けがの原因になります。

注

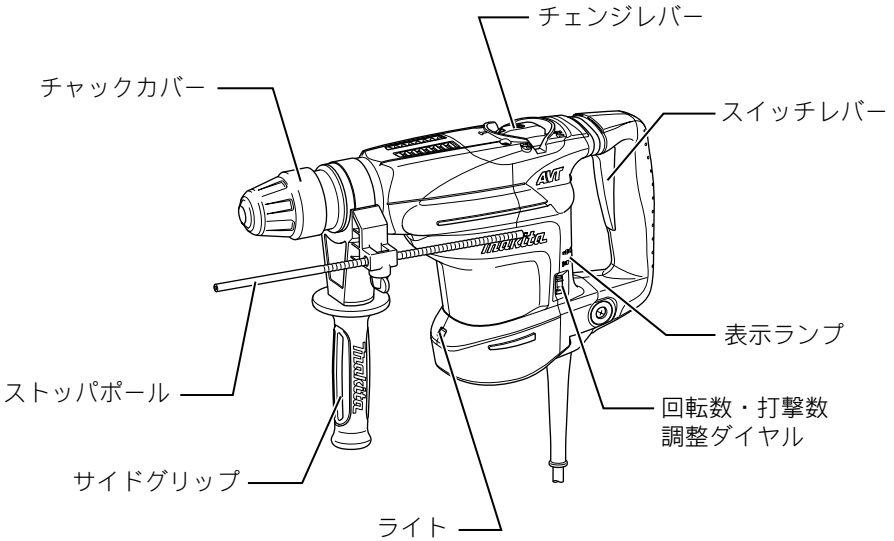
・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用していただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と長さの目安

コードの太さ（導体公称断面積）	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
2.0 mm^2	50 m	30 m	20 m

・ 延長コードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

別販売品のご紹介



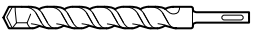
標準付属品

- ストッパポール
- ビット用グリス
- プラスチックケース

別販売品のご紹介

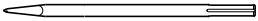
・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、当社営業所へお問い合わせください。

・ **超硬ドリル** 4X ＝刃先 4 枚付



錐径 (mm)	部品番号	全長 (mm)	最大穿孔深さ (mm)
10	A-17382	305	165
10.5	A-17398		
11	A-17407		
12	A-17413		
12.5	A-17429		
12.7	A-17435		
13.5	A-17441		
14.3	A-17457		
14.5	A-17463		
16	A-17479		
16.5	A-19233		
17	A-17485		
17.5	A-17491		
18	A-17500		
19	A-17516		
20	A-17522	285	
21.5	A-17538		
22	A-17544		
25(4X)	A-17550	320	200
28(4X)	A-17566	370	250
32(4X)	A-17572		
35(4X)	A-17588		
16(4X)	A-19392	540	400
17.5(4X)	A-19401		
18(4X)	A-19417		
19(4X)	A-19423		
20(4X)	A-19439		420
21.5(4X)	A-19445		
22(4X)	A-19451		
24(4X)	A-19467		
25(4X)	A-19473		
26(4X)	A-19489		
28(4X)	A-19495		
30(4X)	A-19504		
32(4X)	A-19510		
35(4X)	A-19526		

・ **ブルポイント**

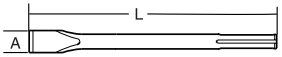


全長（mm）	部品番号
280	A-17326
400	A-17332
600	A-87476

・ **スーパーブルポイント**

全長（mm）	部品番号
400	A-33146

・ **コールドチゼル**

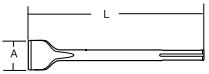


寸法（A × Lmm）	部品番号
25 × 280	A-17348
25 × 400	A-17354

・ **スーパーコールドチゼル**

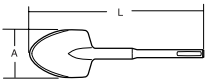
寸法（A × Lmm）	部品番号
26 × 400	A-33152

・ **スケーリングチゼル**



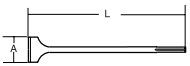
寸法（A × Lmm）	部品番号
50 × 400	A-17360

・ **スコップ**



寸法（A × Lmm）	部品番号
105 × 400	A-17653

・ **タイルチゼル**



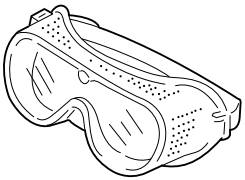
寸法（A × Lmm）	部品番号
50 × 300	A-17376

別販売品のご紹介

・ コアビット

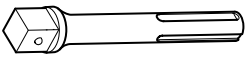
				センタービット	アダプタ センタビット、 ロッド含む	ロッド コアビット、 アダプタ 取り外し用
錐径 (mm)	部品 番号	全長 (mm)	最大 穿孔 深さ (mm)	部品番号	部品番号	部品番号
25	A-21945	150	200	A-44030	A-19358	A-44052
30	A-21951					
35	A-21967					
40	A-21973					
45	A-21995	150	315	A-44046	A-19364	A-44068
54	A-22006					
65	A-22012					
79	A-22028					

・ セーフティゴーグル（保護メガネ）
部品番号 191686-2



・ ハンマ用グリス（30g）
部品番号 A-42999

・ ケミカルアンカアダプタ



・ キーレスドリルチャック
アッセンブリ
部品番号 122829-5

角ドライブ（mm）sq	部品番号
12.7	A-19847
19	A-19853

・ サイドハンドル
（ハツリ、破砕作業用）
部品番号 134890-0

使い方

ビットの取り付け・取りはずし方

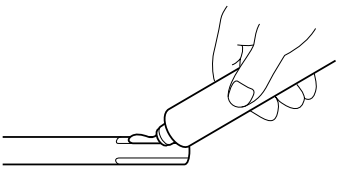
⚠警告

ビットの取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

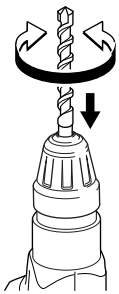
・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行うと事故の原因になります。

取り付け方

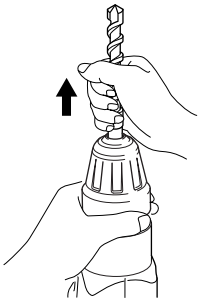
・ ビットのチャック部は常にきれいにし、付属のビット用グリスを塗布してください。



・ ビットを差し込んでください。ビットを回しながら位置を合わせ、奥まで差し込んでください。

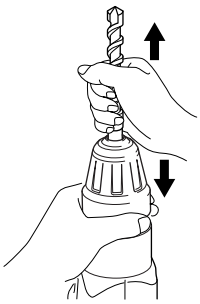


・ ビットを引っぱって抜けないことを確認してください。



取りはずし方

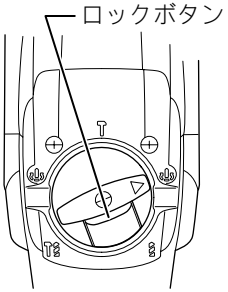
・ チャックカバーをいっぱいまで引いて、ビットを引き抜いてください。



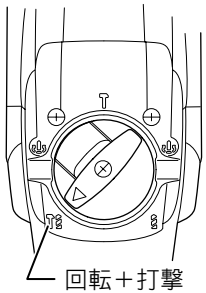
使い方

チェンジレバーの操作

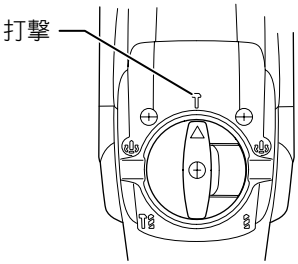
・ チェンジレバーはロックボタンを押しながら操作してください。



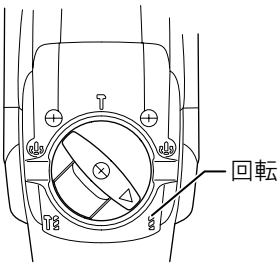
・ コンクリート、モルタルなどに穴あけをされる場合は、チェンジレバーの△を にセットしてください。回転＋打撃になります。工具は超硬ドリルをお使いください。



・ ハツリ、破砕をされる場合は、チェンジレバーの△を にセットしてください。打撃になります。工具はブルポイントなどをお使いください。



・ 鉄、木材に穴あけをされる場合は、チェンジレバーの△を にセットしてください。回転になります。別販売品のキーレスドリルチャックアッセンブリを取り付け、ドリルは鉄工、木工キリ等をお使いください。



注

- **チェンジレバーの切り替えは本機を停止させてから行ってください。**
- **チェンジレバーは確実に切り替えてください。途中の位置で使用されますと切替機構の寿命を縮める恐れがあります。**

使い方

ビットの角度の決め方（ハツリ・破砕をする場合）

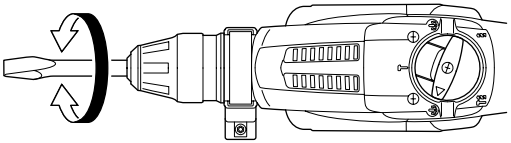
⚠ 警告

ビットの角度を決める際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

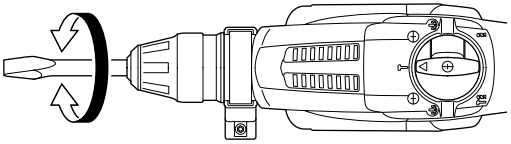
・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行うと事故の原因になります。

・ 24 段階の角度で固定できます。

1. チェンジレバーの△を にセットしてください。ビットを回して角度を決めてください。



2. チェンジレバーの△を にセットしてください。ビットを少し回して固定されていることを確認してください。



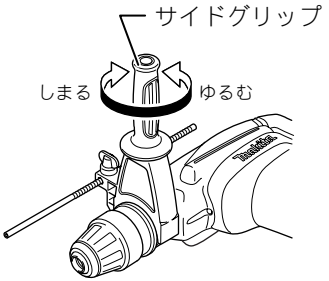
サイドグリップについて（ハツリ・破砕、穴あけ作業兼用）

⚠ 警告

穴あけをされる場合コンクリート壁の貫通時や鉄筋などに刃先が接触した場合に、本機が反動で回ることがありますので、サイドグリップをしっかり固定し本機を両手で確実に保持してください。

・ 確実に保持していないと、事故の原因になります。

・ サイドグリップの位置を変えたいときは、左へ回すとゆるみますので、作業のしやすい位置にしっかり固定してください。なお、ストッパポールを使用した場合、サイドグリップの位置により、本機とストッパポールがあたってサイドグリップが固定できない場合があります。



使い方

スイッチの操作

⚠警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし事故の原因になります。

・ スイッチはスイッチレバーを引くと入り、離すと切れます。

回転数・打撃数調整ダイヤルの操作

・ 作業内容により回転数・打撃数を無段階に調整することができます。
・ 数字が大きくなるほど回転数・打撃数が多くなります。

回転数・打撃数の目安

回転数・打撃数調整ダイヤル	回転数 / 分	打撃数 / 分
5	630	3,300
4	590	3,100
3	480	2,500
2	370	1,900
1	315	1,650

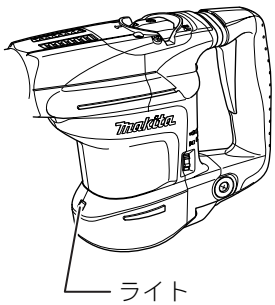
使い方

ライトの点灯

⚠ 注意

ライトの光を直接のぞき込んだり、目に当てないでください。
・ ライトの光が連続して目に当たると目をいためる原因になります。

・ スイッチのレバーを引くと点灯し、離すと 10 秒～ 20 秒で消灯します。

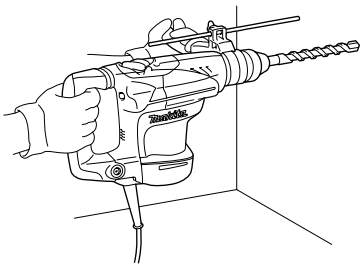


穴あけ方法

⚠ 警告

コンクリート壁の貫通時や鉄筋などに刃先が接触した場合に、本機が反動で回ることがありますので、サイドグリップをしっかり固定し本機を両手で確実に保持してください。
・ 確実に保持していないと、事故の原因になります。

1. チェンジレバーの△を (回転＋打撃)（ハンマドリルモード）にセットしてください。
2. 穴あけ位置に超硬ドリルの先端を当ててからスイッチレバーを引きます。
3. 本機が浮き上がらない程度に軽く押し付けて作業してください。無理に押さえ付けても作業能率は上がりません。
4. 深い穴で粉じんがつまりやすいときは、超硬ドリルを回転させながら大きく前後させ粉じんを排出させてください。



使い方

トルクリミッタについて

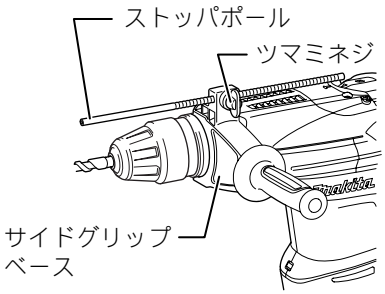
・ 超硬ドリルに所定のトルクがかかると、トルクリミッタが作動し、超硬ドリルにモータの回転が伝わらない構造となっています。
・ トルクリミッタが作動したときは、スイッチレバーを戻せば通常の作動できる状態に戻ります。

注

・ トルクリミッタが作動したときは、すぐにスイッチを切ってください。
・ ホールソーなど、ひっかかりやこじれの発生しやすいものはトルクリミッタが作動しやすいため使用に適していません。

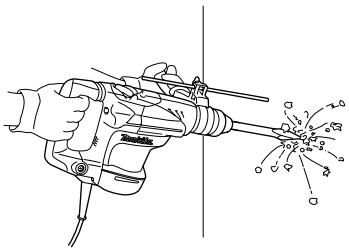
ストッパポールの使い方

・ 同じ深さの穴をたくさんあけたいときにお使いになると便利です。ストッパポールはサイドグリップベースについているツマミネジによって調節できます。



ハツリ・破砕方法

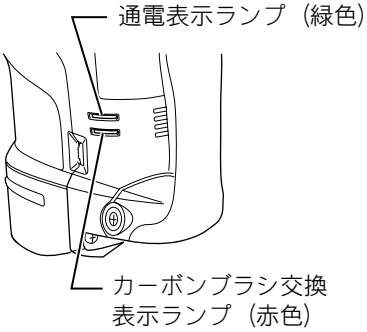
1. チェンジレバーの△を (打撃) (ハンマモード) にセットしてください。
2. ハツリ・破砕は機械を無理に押し付けても作業能率は上がりません。本機が浮き上がらない程度に押さえて作業してください。



表示ランプについて

通電表示ランプ（緑色）

・ 電源プラグを電源コンセントにつなぐと通電表示ランプ（緑色）が点灯します。スイッチを入れると正常に作動する状態であることを表わします。



・ 次のような症状がでた場合には、必ずお買い上げの販売店または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。

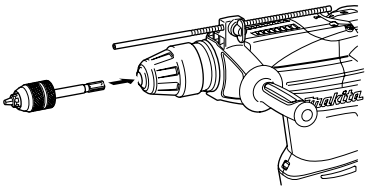
	症状	原因
①	電源プラグを電源コンセントにつないでも通電表示ランプ（緑色）が点灯しない。	電源コードあるいはコントローラの故障です。
②	通電表示ランプ（緑色）は点灯しているがスイッチを入れても作動しない。	カーボンブラシの寿命、コントローラ、モーターあるいはスイッチの故障です。

カーボンブラシ交換表示ランプ（赤色）

・ カーボンブラシ寿命のおよそ 8 時間前になると点滅します。電源プラグを電源コンセントから抜くまで点滅しつづけます。
・ カーボンブラシの交換と同時に本機の保守・点検を行ってください。
・ カーボンブラシの交換は、ご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。

別販売品の使い方

鉄工・木工穴あけ方法



1. キーレスドリルチャックアッセンブリを取り付けてください。取り付け・取りはずしは、「ビットの取り付け・取りはずし方」を参照してください。
2. 切り替えレバーの△を (回転)（ドリルモード）にセットしてください。
3. 金属に穴をあける場合は、穴をあける位置にセンタポンチでクボミを作り、そのクボミにキリの先を当てがえば、キリの先がすべらず正確な位置に穴あけができます。
4. 金属の穴あけ時にはキリに油（マシン油など）をつけて作業してください。鉄工キリは φ13mm、木工キリは φ32mm まで使用できます。

注

- 本機を無理に押し付けて回転数を大幅に低下させることは避けてください。作業能率が低下するばかりでなく、本機の寿命も短くなります。
- ドリルチャックアッセンブリを「回転＋打撃」（ハンマドリルモード）で使用しないでください。「回転＋打撃」（ハンマドリルモード）で使用しますと、ドリルチャックが破損する場合があります。

保守・点検について

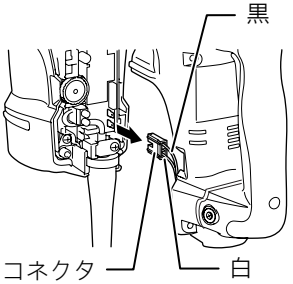
⚠警告

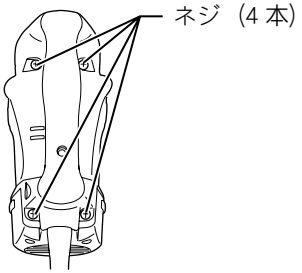
点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行うと、感電や事故の原因になります。

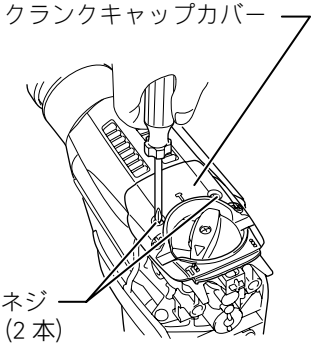
グリスの交換

・ 本機はグリス密封式のため常時補給する必要はありませんが、本機を長持ちさせるため、定期的にグリスの交換を行ってください。
・ グリス交換は数分間空運転し本機をあたためてから行ってください。
・ 4 本のネジをネジ回しでゆるめ、ハンドルを取りはずしてください。
・ ハンドル側と本体側をつないでいるコネクタを抜いてください。

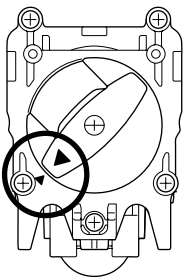




・ 2 本のネジをゆるめクランクキャップカバーをはずします。



・ チェンジレバーを△印に合わせます。

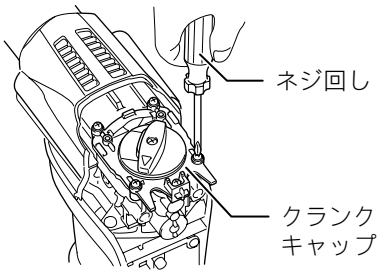


保守・点検について

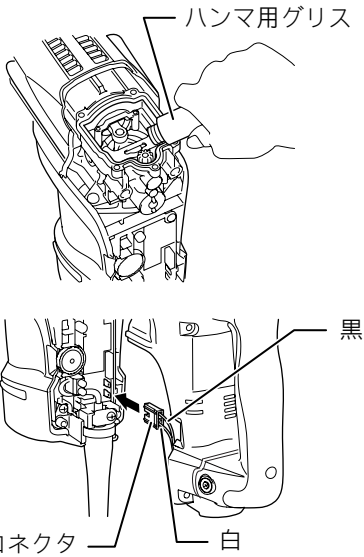
注

- **クランクキャップをはずす前や本機にクランクキャップを組み付ける前には必ずチェンジレバーを△印の位置に合わせてください。本機からはずせなかったり、組み付けられなくなる場合があります。**

- 5本のネジを⊕ネジ回しでゆるめ、クランクキャップをはずします。



- 本機先端を上に向けてクランク室に古いグリスを溜めてから布で拭き取り、新しいグリス（別販売のマキタハンマ用グリス 30g）を入れてください。このとき、グリスを規定量（30g）以上入れますと、打撃不良などの故障の原因になりますので、必ず規定量にとどめ、入れ過ぎないようにしてください。
- ハンドル側から出ているコネクタを本体側にしっかり差し込んでからハンドルを組み付けてください。



注

- **本機先端を上に向けてグリスを拭き取る際、またはハンドルを組み付ける際には本機から出ている端子・配線などを傷つけないように注意してください。**
- **クランクキャップを締め付けるときは、クランクキャップが樹脂ですので、締めすぎないように注意してください。**

保守・点検について

本機のお手入れ

・ 乾いた布か石けん水を付けた布できれいに拭いてください。

注

・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコール等は変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。

882376C5
NNP

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 （代表）